

\*\*\*\*\*  
第4回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録  
\*\*\*\*\*

開催日時：2008年10月29日（水）午前10時00分～午前11時50分

開催場所：町田市役所森野分庁舎4階 第2・3会議室  
\*\*\*\*\*

出席委員：（敬称略、順不同）

秋山哲男、兵藤哲朗、赤星健太郎、久松宏（代理：福浪）、安達正晃（代理：飛松）、  
山本一俊、落合敢二、坂本織也、相川準、三木健明（代理：明石）、  
清水隆治（代理：堀籠）、玉野利章、皿嶋裕規、加藤弘、柳澤秀秋、和津田郁美、  
小山七平、米増久樹、佐藤勲、桑澤利京、遠藤美津子

事務局：高橋豊都市づくり部長、楠裕次都市計画課長、渋谷晴久交通計画担当課長、  
松原夏樹係長、奥村繁樹主任、保坂陽子主事、㈱日本能率協会総合研究所（4名）

オブザーバー：松澤尚利、千葉直志

傍聴人：1人  
\*\*\*\*\*

【会議次第】

1. 開会挨拶
  2. 委員紹介
  3. 資料確認
  4. 議題
  5. 閉会
- \*\*\*\*\*

【議題】

1. 町田市都市・地域総合交通戦略策定方針（案）
  2. 交通施策ニーズ調査の実施（案）
  3. その他
- \*\*\*\*\*

【議事】

<開会挨拶>

省略

<委員紹介>

省略

<資料確認>

省略

## <議題>

### 1. 町田市都市・地域総合交通戦略策定方針（案）

#### [資料説明]

町田市都市・地域総合交通戦略策定方針（案）：資料1  
事務局による説明（省略）

### 2. 交通施策ニーズ調査の実施（案）

#### [資料説明]

交通施策ニーズ調査の実施（案）：資料2  
事務局による説明（省略）

#### [意見等]

（委員A）アンケート調査を行うということで作るのはいいと思うが、現状を知りたい、今後5年間の先にどう推移していくかを作りたいということだが、例えば一般市民にアンケートをする際、中心市街地に向かうのに不便であると言う前に、中心市街地がどうあるべきかという街の議論をする必要があるのではないかと。中心市街地に行かなくても買物ができるということであれば行かなくてもいいということにもなるであろうし、街の姿を見せた上でアンケートをした方がよい。交通だけの切り口だけでやると今の現状だけのアンケートになってしまう。どこに着地をおくのかを考えた上でアンケートを行った方がよい。

（委員長）非常に貴重なご指摘である。中心市街地とロードサイドショップとの関係で、中心市街地がかなり疲弊しているという状況が特に地方で大きくなっている。町田市では今後中心市街地をどう整理していくかというコンセプトを持った方がいいというご提案と思われる。それについては賛成であるので、ぜひ入れられたら入れていただきたい。

（委員B）アンケートを見ていると、どれもいいことばかり書いてあるが、抽象的すぎる。市民が今現在感じている不満・問題点を聞き出すということが先決ではないか。

町田は交通が本当にうまくいっていない。市民から見ると問題点だらけである。アンケートに書いてあることはいいことばかりだが、重要性ということにプライオリティをつける内容となっており、自分が感じている一番の問題点・不満をやってもらいたいということになると思われる。

一例を挙げれば、バスが9時以降はJR町田駅にしか行かず、小田急線町田駅には行かない、というような不満がある。また、町田街道が渋滞しており車で行くと非常に時間がかかるため、自転車を多用する。自転車が歩道を走るようになると、歩道が狭いため自転車が人にぶつかるようになる。

そういったように、うまくいっていないことが多い。少しそのような設問を付け加えてはどうか。その上で、順番を公平に、自分が直面している問題点だけではなく広く見渡してどうか、といったリードの仕方にしていただきたい。

もう一点、去年くらいから金森地区のバス問題が提起されており、神奈川中央交通と交渉しているが、道路が狭いために警察から許可が下りていない。そういった経緯で1年以上放置されている。なぜまだ実現しないのかということで、これも金森地区の不満の種である。

そういったことから拾い上げていくのが重要ではないかと思われる。

(委員長) 今アンケートがやや抽象的であるというご意見をいただいた。この点についてはある程度割り切りが必要で、交通マスタープランの評価をするという視点にやや重心をおきすぎた点が、抽象的になった原因と思われる。したがって交通マスタープランの評価をしてもらうことの意味があるかどうかという議論が少し必要と思われる。

より具体的な不満については、交通マスタープランを作る上である程度聞き込んでいる。そういう意味で、委員Aが言われた都心部がどういう方向を目指すのかという点と同様に、アンケートの設定において、交通マスタープランの評価だけでなく、町田市としての都市交通の方向性について、もう少し具体的なイメージをわかりやすく伝え、それを評価していただくという流れでいくと、交通マスタープランをより理解していただけるのではないか。

組み立てが交通マスタープランの抽象的な言葉と、具体的な空間のつくりとの連動性がもう少し必要だというご指摘と思われるが、事務局として意見があれば伺いたい。

(事務局) 現在中心市街地について、地域活性化懇談会を行っている。そういった中で、学識の方に入っていただくなど、町田市としての方向性を現在模索している状況である。今ご指摘にあった町田市としての中心市街地の姿、まちのあり方を明確に示していきたいと思っているが、現在作業中であるので、可能な限り姿を示していきたいと考えている。

(委員長) 先日フランスのある都市を訪ねてヒアリングを行い、その後資料を探していたところ、交通計画にも関わらず最初に都市像について相当のページを割いていた。市の姿やまちの景観についてこういったものがいいか、そうした景観にするためにはこういう交通が必要である、というプロセスが出てくる。日本の交通計画は需要予測から始まる、どちらかというとアメリカ型で、予測から実際に道路計画、鉄道計画、バス計画へという手順である。間違っていないが、もう少しダイナミックに問題を捉えた方がよいのではないか。

そういったことも意識して、都市像や交通像について市民生活に直結するようなアンケート票の作り方について、少し工夫していただきたい。今回の交通マスタープランの評価でそのままの言葉でやるのも大切だが、都市像に関わるものを追加的に数項目入れる等で補完していただきたい。

また設問1などは全て丸がついてしまう場合があると思われ、そうすると項目間の優先順位がない。5項目あれば、項目間の優先順位について10点中10点を鉄道につけるのか、鉄道とバスに4点ずつつけるのかというように評価項目を少し工夫

していただきたい。

(委員C) 2006年2月に交通マスタープランが策定され、それを落とし込んだアンケート内容になっていると思われる。ただ、2年間でマスタープランの内容について地域の人がどれだけ把握したのかという点が気になる。行政や関係機関にもヒアリングが行われるとなっているが、行政の中でも交通マスタープランについて把握していないところもあるのではないかとと思われる、さらに業者においてはどれだけ把握しているのかわからない。

2年間の中で交通マスタープランが皆さんにどれだけ把握されているのかが取り出せないのではないかと。

(委員長) もしかすると交通マスタープランが知られていないのではないかとという心配と、あまり認知されていない交通マスタープランの目標を具体的に評価してもらうということはどういうことなのか、という点について市にご意見があれば伺いたい。

交通マスタープランは一度作ったもので、市の一つの方向性がある。その方向性を説明した上で、アンケートで聞くということはよいと思われるが、それと市民感覚での現在の問題とのずれをどう補完するかがもうひとつ重要である、というのが全体的なみなさんのご意見である。その点についてご意見を伺いたい。

(事務局) 2006年2月に策定し2年以上経過しているが、庁内の職員も十分認知していない部分もある。庁内については交通マスタープランについて改めて認識してもらうよう措置をとらせていただく。

もう一点、交通マスタープランが市民の方に認識されていないのではというご指摘について、策定後PRを行ってはいるが、そのPR不足の部分があると思われる。これについては市の公式ホームページ等を活用し、できれば交通マスタープランについて詳細に説明できる場を設けたいと考えている。

またアンケートを実施するに当たってどれだけの市民の方に交通マスタープランが認識されているのかといった点も、アンケートの項目の中に含ませたいと考えている。

先ほど文言の表現が非常に抽象的というご指摘をいただいたので、先ほど説明の中でも申し上げたが、各委員からご意見をいただければと思っている。事務局でも文言については再度見直しを行うが、改めてこの中でご意見をいただきたい。

委員Bから9時以降のバスの話があったが、これについては交通管理者と神奈川中央交通と現在調整中である。地域の方にもご協力いただいております、バスの走行環境の改善等を図っていく形で予算等も考えているため、今しばらく時間をいただきたい。

また町田街道の渋滞についてのご指摘があったが、町田街道は都道であり、町田街道の交差点について「すいすいプラン」として渋滞改善への対策を東京都にやっただけではないかと伺っている。町田市としても渋滞箇所については用地買収等ご協力させていただいている部分もある。また、多摩地域の都市計画道路について、平成18年度から27年度までの10年間で多摩地域の都市計画道路のあり方について計画を持って

いる。その多摩地域の都市計画道路の整備方針の中で、町田街道の渋滞解消のために中心市街地を中心とした環状道路の整備を優先的に整備する方針も考えている。

自転車が歩道を走っていて危険であるという点については、歩道が狭く自転車が歩行者と混在しているという状況がある。根本的には都市基盤整備、道路整備ということになるかと思われるが、貴重なご意見であるので、自転車の担当部署との調整もさせていただきたい。

(事務局) 来年、再来年の都市計画マスタープランの見直しにおいて、先ほど委員長が言われた景観についてもここで町田市としての景観計画を出すことになる。全体的なまとめについては都市計画マスタープランで交通も含めてまとめていかなければならない。

またこのアンケート調査に先立って、今までやってきた施策が見えない部分もある。

そうした点についても表現するか、あるいはホームページ上で掲載することが必要であり、また今までやってきた施策の中でもできている施策とできていない施策がある。

アンケートについては将来全体的にどうするかという部分と、短期的に市民の要望がある施策を拾い上げるという部分もあるかもしれないので、それについての構成もまたご相談させていただきたい。

(副委員長) 5000 世帯に配布ということだが、町田市の人口 40 万人のうち 2 万人に配布されるとなると結構な数になり、交通マスタープランを PR する絶好の機会である。アンケートの白黒コピーだけではわかりにくいので、何かカラー 1 枚でもよいので目を引くような配布をしていただきたい。

大学で都市計画に関する授業をやっており、出身地の都市計画のホームページを見て感想を書かせている。先ほどホームページでも公開していると言われたが、初めて自分の自治体のホームページを見たという学生がほとんどである。作っただけではだめで、ホームページは見る機会が多いが意外と都市計画などは見ていない。そこを PR するようにしたい。

アンケートにも長い URL が載っているが、「町田市交通マスタープラン」で検索すれば一度で行き着くはずである。せっかくの PR の機会であるから、その方法を十分考えていただきたい。

(委員 C) それに関連して、交通マスタープランは 2030 年に向けて策定されている。一方アンケートは 15 歳以上の方が対象となっており、まさに今中学生・高校生に当たる人たちが、交通マスタープランが策定したものに向かって進んでいくことになる。自分自身組合等に冊子を配ったりしたが、我々が見ても字が多いなど、本ではなかなか手に取りにくい。本当にできるかはわからないが、これから将来を支えていく中学生・高校生用にもアピールできるようなものを町田市として独自にできないか。

その理由は、交通マスタープランの中で公共輸送機関を育てる、マイカーを抑制する等のことを出しているが、今育っている子供たちは駅前に自転車を放置するな

ど、そうしたものを無視している年代の人も多い。先ほどせっかくの PR の機会だからという言葉があったが、そういった若い世代の意識に対しても PR を実現できないか。

(委員長) 今言われたことは、アンケートを配布するときに中学生・高校生についてもアンケートに回答してもらい、交通マスタープランについて認知していただくというやり方も取れるかもしれない。工夫していただきたい。

ご意見はまだあるかもしれないが、今日突然出たものであるのもので、後日事務局に対してご提案があれば、早めに言っていただきたい。10 日以内に事務局に言っていただければ、その意見を反映させることも可能であるので、ぜひご提案いただきたい。

基本的にはもう少しわかりやすくするということと、市民が問題として感じている部分あるいは町田市の将来の都市像について焦点を絞ったものについても項目として追加するなどの対応をしてアンケートを作り変えていただきたい。

もちろん交通マスタープランの評価も行うので、その両方のバランスをうまくとるのが大変ではあろうが努力していただきたい。

委員 C や副委員長が言われた PR については、小中学生に知らせるなどの機会も作れると思われる。中学生向け、高校生向けを認知などの問題に絞って、書いていただくということもありうると思われるのでその工夫も合わせてお願いしたい。